

生活応援・地域復興 第26号

(最終号)

1996.3.29

# 救援ニュース

都市生活現地救援本部

西宮市津門西口町7-3

電話：0798-36-6679

## 生活クラブ生協埼玉から

### 「一食カンパ」の支援 7百万円

東神戸支部ポーアイ地区の組合員と現地救援本部とが取り組んでいる仮設住宅での「手わたし共同購入」にたいして、生活クラブ生協埼玉から700万円を超える強力な支援カンパが寄せられました。

生活クラブ埼玉では昨年暮れから仮設での共同購入の取り組みを支援するため、「一食カンパ」を組合員に呼びかけていました。

「一食カンパ」とは、震災直後に食べる物にも困っていた被災者の気持ちを少しでも理解するために食事を一食抜き、この一食分のお金をカンパするというものです。

こうして集められたカンパは総計で7百9万4449円にもものほり、震災への深い関心と協力の力の大きさとに「都市生活」の組合員・職員、現地救援本部スタッフ一同あらためて感激しています。

### 3月5日に贈呈式



3月5日、贈呈式の模様。現地救援本部にて

3月5日には、生活クラブ埼玉の理事長をはじめ役職員の方々が西宮市の現地救援本部を訪問され、カンパ金の贈呈式が行われました。また翌日には、共同購入が始まるポートアイランド第3仮設住宅を含むポートアイランド仮設青空市の現場に同行していただき、お手伝いまでしていただきました。この紙面を借りて御礼申し上げます。

なお、ポーアイ第3仮設では3月25日までに第1回目の配達を終え、ロールペーパー・ティッシュ・米2品の計4品目で全126戸中、注文戸数が延べ115戸以上、注文点数は159に達しました。

## 救援ニュース終刊にあたって

### 御支援ありがとうございました

別紙の通り、3月末をもって現地救援本部は解散し、4月からは「地域復興センター準備会」をたち上げ、新体制で地域の復興に取り組みます。これにともなって救援ニュースも本号をもって終刊といたします。原稿を寄せてくださった方々、編集をお手伝いしていただいた方々、折り込み・配布を担当してくれた「都市生活」職員のみなさん、そして有形無形のさま

ざまな励ましと支援を頂いた読者のみなさんに心より感謝いたします。

また特に震災直後から西宮に乗り込み第1次現地救援本部の中枢を担ってくれたエル・コープの役職員のみなさんと学生を中心としたボランティアの方々の努力がなかったら、この救援ニュースは存在しませんでした。現編集部がその志を充分な形で引き継げたかどうかを恐れています。

### 4月から新紙面で

なお、4月以降は「地域復興センター準備会」への移行にともなって、新しいタイトルのニュースを発行していく予定です(タイトルは未定)。今後に御期待下さい。

現地救援本部  
救援ニュース編集部

# 「たまねぎの会」活動スタート

西宮支部

## 3/14 仮設住宅でカレー大会

西宮の救援活動はここ1年他地域からの応援で細々と続けられてきました。96年度から本格的に西宮の組合員でちょっとずつ歩み出していこうと、有志が15人ほど集まり、であいのネットワーク「たまねぎの会」を発足させました。4月からのスタートにすると、実質的に動き出すのが5月6月になってしまうのではないかと心配し、3月にこわごわちょっとこんなことやってみようというので、3月14日に津門住江公園の仮設住宅でカレー大会を行いました。

津門住江公園の仮設は36戸ですが、近隣の二葉公園の仮設住宅20戸にも声をかけ、組合員13人、大阪西部生協からボランティア2名、西神戸支部の組合員とその息子さん、救援本部スタッフが参加しました。この日はお天気もよく、皆も一回目とはりきってカレーを作りました。

はじめのうち仮設の人は様子見の出足でしたが、カレーのにおいがあたりにたちこめだすと多くの人たちが集まってこられました。少数の仮設なので夕食にいかがですかと声をかけると、なべを持ってまた来てくれる人もかなりありました。夕食時に隣近所みなカレーのにおいがたちこめて昼間の話が食卓の話題になったのではと、うれしくなりました。

仮設の人が「次はいつ来てくれるの？ここはさくらがきれ



1996.3.14 西宮市津門住江公園仮設住宅にて

## 次回は4/18花見会

いに咲くよ。花見においで」と声をかけてくれました。その声かけに気をよくし、次回の花見の予定が立ちました。

4月18日ちらしずしで花見会  
(場所は同じ津門住江公園)

近くの組合員さん、いっしょに花見しましょう！

(たまねぎの会)

## 魚住寛子さん急逝

3月25日、東神戸支部ポートアイランド地区の組合員魚住寛子さんが亡くなりました。告別式は3月27日水曜日、いつも魚住さんがボランティアとして参加されていたポートアイランド水曜仮設青空市のその日に行われました。

魚住さんは昨年6月から開始されたポートアイランド仮設青空市で当初より中心的役割を担い、都市生活生協の組合員活動に多大の貢献をされてきました。4月から新体制でのぞむポーアイ地区の仮設住宅支援活

動においても活躍が期待されていきました。

活動が困難に突き当たった時にも決して明るい笑顔を絶やさず、まわりの人を笑わせていた魚住さんは、あえて道化役を引き受けることによって皆に「つまらないことでゴチャゴチャ悩まずに、みんなで前に進むことを考えましょ」と語りかけていたのではないかと……そんな気がしてなりません。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。